

2020年4月1日

2020年度新入行員に向けた頭取訓示

2020年度新入行員入行初日における頭取訓示（頭取 笠原慶久）について、下記のとおりお知らせいたします。

記

<内 容>

●はじめに

1. 経営品質元年
2. 肥後銀行について

● 結びに

以 上

《本件に関するお問い合わせ》
九州フィナンシャルグループ 広報・IR部
担当：小西
電話 096-326-5607

● はじめに

頭取の笠原慶久です。

2020年度の入行初日にあたり、モニターの前にいらっしゃる100名ちよ
うどの皆さんを、心から歓迎いたします。世界はいわゆる新型コロナウイルス問
題で、大きな影響を受けています。そのため、皆さんの晴れの舞台である入行式
を中止し、研修を分散して実施することとしました。直接会えないのは残念です
が、皆さんにとっては、どのような形であれ、社会人出発の日として、また、肥
後銀行および九州フィナンシャルグループの仲間入りをした日として、生涯の記
憶に深く留め、決意を新たにしたいと願っています。

1. 経営品質元年

今年は2020年ですが、肥後銀行の今年は「経営品質元年」であり、皆さん
は「経営品質元年」入行生でもあります。昨年、当行は「日本経営品質賞」を銀
行業界で初めて受賞しました。100以上ある銀行の中で、初の受賞です。この
日本経営品質賞とは、お客さまの視点から経営を見直し、自己革新を通じてお客
さまの求める価値を創造し続ける企業に与えられる賞です。

しかし、私は、受賞したことはゴールではなく、品質の高い一流企業が競い合
うマラソンのエントリーを果たし、スタートラインに立った段階と考えています。
すなわち、今年こそが「経営品質元年」であり、「経営品質元年入行」の皆さんと
共に、さらなる品質向上のスタートを切っていきたいと思えます。

2. 肥後銀行について

さて、経営品質の話とも関連しますが、激励に代え、皆さんが働く場としての、肥後銀行の素晴らしさをお話ししておきます。世の中では銀行業界に対してネガティブな論調があり、不安を持っている方もいるかもしれません。

でも私は、肥後銀行は夢のある素晴らしい会社であり、肥後銀行に入ってよかった、再び就職するなら、ぜひとも肥後銀行を選びたいと思っています。

その理由はいくつかあります。

第一に、お客さまと地域と同僚のために尽くす利他の精神をもつ企業であることです。これは3つの企業理念に現れています。

第二に、地域の持続可能性を重視し、環境や社会の問題に大きな関心を払い、経済成長も追求するSDGsの考えに賛同し、金融を通じて、世の中の持続可能性に貢献することをコミットしている会社であることです。具体的には、古くから水資源等の保全や、観光や農業など地元産業の支援にも取り組んできました。将来を案じる若い世代の皆さんにもやりがいがあるはずです。

第三に、有事に頑張るパワーとノウハウがあります。四年前に発生した熊本地震に際しても、私たちも被災者でしたが、銀行の仕事を通じ、多くの被災者の方々に寄り添い、お客様や地域の復旧復興のために力を尽くしてきました。

そして今、新型コロナウイルスの問題で、この熊本も苦しんでいます。しかし、私たち肥後銀行は、コロナを理由として、倒産や廃業する取引先が一つもないよう、2万社を超える取引先の状況を聞き、緊急融資を行っています。

私たちはこの問題から絶対に逃げず、地元のお客さまや地域のために力を尽くす決意をしています。第四に、歴史と未来があります。当行は、創業から今年で95年になります。その間には幾多の困難がありました。その困難を乗り越え、長きに

亙り受け継がれてきた「たすき」は、今の私たちがしっかりと未来につなげていかなければなりません。肥後銀行のブランドスローガンは「うるおいある未来のために。」です。お客さまや地域の課題を、自分たちの仕事によって共に解決していくことができるという意味において、地方銀行ほど面白く、やりがいのある職場はないでしょう。私は、こういった理由で、毎日、とてもやり甲斐を持って仕事をしています。皆さんには、わくわくしながら、当行の新たな未来を作っていただきたいと思います。そう期待しています。

● 結びに

さて、結びとなりますが、これからの銀行の仕事は、従来と比べ間違いなく活躍のフィールドが広がっていきます。

だからこそさまざまなことに挑戦できるチャンスがあります。ぜひ、未来の立派な肥後銀行員になってほしい、そしてより大きくは、九州を、日本を、そして世界を良くする人になっていって欲しいと願っています。一緒に、新しい銀行を、新しい熊本を、創っていきましょう。

本日は、入行、誠におめでとうございました。

以 上